

2011 年度地球市民ひろば

「東京から桃色のジャンヌ・ダルクがやってきた」

◆日時：2011 年 12 月 8 日（木）19：00～21：00

◆場所：沖縄キリスト教学院大学 シャローム会館 1-1

◆ゲスト：増山麗奈

（国際的に活躍する現代アーティスト、反戦ゲリラ集団「桃色ゲリラ」、いのちを守るお母さん全国ネットワーク代表、イラク戦争検証ネットワークメンバー）

◆参加者：10 名（スタッフを含む） ◆担当：岸本

◇ドキュメンタリー「桃色のジャンヌ・ダルク」視聴

増山麗奈さんが出演する「桃色のジャンヌ・ダルク」の映像を一部分だけ視聴する。

◇3.11 東日本大震災以降のわたしたちの暮らし

3.11 東日本大震災が発生し、東京電力の原子力発電所から拡がる放射性物質により私たちの暮らしや食べ物の安全が脅かされている。増山さんからは、首都圏での事例などを交えながら放射能が与える私たちへの影響や、食べ物の安全性について話をしてもらった。

◇ライブペイント

フライングダッチマンの「Human Error」（約 17 分）を聞きながら、増山さんによるライブペイント。テーマは沖縄と親子。来沖してから訪ねた場所や命、子どものことをイメージしながら描いていく。

◇アーティストとしての活動

ライブペイントの後に、アーティストとしての原発を含む核兵器廃絶を訴えるアート集団 WAPA (World Anti Nuclear Peace Action) の活動紹介。また、上関原発が建設予定の祝島や田ノ浦のイラストを交えながら、原発がもたらす地域への影響について話を聞いた。

◇参加者の感想

—子育てしながら同じフィールドで働く女性。かっこいいです。本当に胸を打たれました。

私もかっこいい女性として頑張りたいです。

—増山さんのアクティブな生き方にふれることができたいへんよかったです。ありがとうございました。

—法律や TPP の問題についてもできればいいと思います。

—原発がもたらす様々な問題について改めて知ることができました。お母さんとして、アーティストとしていろいろな立場から活動している姿が印象的でした。子どもたちの未来を守るということを真剣に考えていかなければならないと感じました。